第 83 回大田区薬剤師会実践勉強会　　実施レポート

大田区薬剤師会

田辺三菱製薬株式会社　共催
第一三共株式会社　共催

「糖尿病治療、最近の話題」

2017/6/26

大森赤十字病院　　糖尿病・内分泌内科　部長
北里　博仁　先生

参加者 135 名

<u>質疑応答</u>

Q.GLP1 製剤のウィークリータイプを使用する際の注意点は？

A.基本的には患者さんを吟味して使用している。デメリット等もあるのでそれを乗り越えてでも使わなければならない症例のみ使用している。その他使用選択の基準としては食欲旺盛な人や経口剤を多数処方している方を注射一本にする目的で使用するケースがある。

ウィークリータイプは胃の排泄能にはあまり影響しないが、嘔気の副作用の確認は必要である。

投与開始 1～2 週で血中濃度もプラトーになるので、この間様子をみて嘔気が出る患者さんは投与を中止することも考慮する。

その他家族が投与するケースだと患者さん本人が嘔気等の副作用を訴えられないこともあるので、そのような患者さんには使いにくい。

また、嘔気により誤嚥性肺炎を起こす懸念のあるような患者さんへの投与は慎重になるべきではないと考える。